

平成29年度		事業報告	
事業方針	教育事業の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度も一人ひとりを丁寧に見ていくことを大切に、一人一人の特性、個性を理解しその子その子にふさわしい援助の仕方、言葉掛け等を専門家より学び、全職員が共有し合い活かしてきた。無理強いせず子どもと向き合うことができ子ども達の成長に繋がっていった。 ・職員全員で子どもたちの発達過程を見直し、園のよさや課題を出し合園の全体的な傾向を見出し、職員全員が共通認識をしてきた。特徴としては子どもらしく、とても素直であり、やさしい子が多い、その反面打たれ弱い面が感じられるという課題が挙がる。今後よさを伸ばしつつ、心の強さも伸ばしていきたい。 	
	予算編成の基軸	<ul style="list-style-type: none"> ・教育内容の充実を図るため研修費や講師費は確保し、職員の資質向上につなげることができた。 	
具体項目		内 容	
1	教育計画	健康な体と心の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・園の身近な自然の中で、子ども達の大好きな草花、木の実、木の葉、昆虫などの自然物に触れる機会を多く取り入れ季節の移り変わりを肌で感じ、のびのびと戸外で活動してきた。 ・子ども一人一人に合った援助、対応を心がけ理解し、その子の良さを引き出し子どもが楽しく園生活を送れるよう配慮してきた。仲間と一緒に明るく園生活を楽しんでいた。
2	研究計画	園内研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者や子どもと共に織りなす保育を目指すことを共有し合い保育にあたってきた。学年でジグザグはあるが、子どもたちの思いや意見を取り入れ保育を進めることができ、子供たちも集中して遊びや活動に取り組めた。 ・日々の生活の中で保育者は子どもたちが遊び感覚で、かずやことば、もじに興味を持てる機会を意識的に増やしていった。
3	地域連携計画	地域の方々との交流	<ul style="list-style-type: none"> ・〈小学生、中学生との交流〉園を訪問してくれ、全学年の子が小学生、中学生と関わることができた。触れ合いながら憧れを持ち、喜んで遊べた。 ・〈地域防災訓練〉に職員が参加させて頂き、それぞれの班に入り、実践して学ぶ。 ・「磐田市心の育成事業」で身近なお年寄と触れ合ったり、未就園児と一緒に遊び、異年齢交流を楽しめた。 ・〈富士見町・東久保〉のお年寄りとの触れ合い、地域の皆様に親しみを感じた。 ・地域の方々とお餅つきを通し触れ合いを楽しんだ。
4	施設設計計画	安全点検を重視	<ul style="list-style-type: none"> ・28年度に遊具の点検を専門家にしてもらったが、早急の修理はなく、職員が安全面を考慮し、常時遊具の腐食やさびの状況を目を配ってきている。 ・バランス感覚、上へのぼったり、ぶら下がったりする力を遊びの中で養える遊具を園庭に設置できた。年齢に関係なく遊べるところがよく、子供たちがよく使用している。 ・水をまかず清掃できるトイレの改修を望んだが、実現できなかった。子供たちがスムーズに利用できるよう今後改良を考えたい。
5	管理運営計画	職員の体制作り	<ul style="list-style-type: none"> ・経験がないにかかわらず、一人一人の教師の持っている良さを互いに認め、吸収し合って保育にあたってきた。一人一人の子ども理解も深まり、子どもたちの成長にもつながっている。 ・行事等の進め方も保育者の良さが十分発揮できて、保育者同士も互いに刺激を受け合う場になり、吸収し合っている。
6	財務計画	適切な予算	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の資質向上を図るための財政を確保してきた。 ・全室内のエアコン整備を完了させた。 ・運動量の増える新しい遊具を購入してきた。